

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～



協議体で「ごみ出し」と「移動」の解決策を検討しています

住民の方からの声やケアマネジャーさんへのアンケート調査結果等を踏まえて、生活課題になっている「ごみ出し」と「移動」の解決策について話し合いを進めています。

出てきたアイデアを、町ができそうなこと、住民ができそうなこと、事業所にお願いできそうなこと等に振り分けて、それぞれ取り組めそうかを検討しています。

会議で出た意見を一部ご紹介します。



昨年度までは地域ケア推進会議と兼ねて協議体を運営していましたが、より実働に結びつきやすいように令和7年度からは単独で協議の場を設けています。



ごみ出し支援の課題と解決策（案）

課題		解決策（案）
近所の人には頼みづらい人もいます。	→	公的な窓口で依頼を引き受け、支援は住民が行う。 マッチングや支援内容、支援の流れは検討が必要。
活動を始めたものの、回覧板で周知しても依頼がほとんどない。	→	地域包括支援センターやケアマネジャー等の専門職と連携して情報提供する。
回収が夜のためヘルパー支援の場合はポリバケツやネットを使うしかないが、その回収を誰がするかが問題。	→	日中にもごみ出しができるよう、ふた付きのごみステーションの設置を町に考えてほしい。



成和町内会では支え合い活動の一環で、生活支援のモデル活動（ごみ出し支援、1件）を行っておられます。今回、成和町内会にご協力いただき、相談窓口を変更したり、専門職と連携することで活動が上手くいくか検証することになりました。

検証結果を基に、この活動を町全体に広めていく方法を考えていきます。

令和7年度前期 活動報告

令和7年4月～令和7年9月

生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。

四者合同研修会

7月24日(木)、四者合同研修会を開催しました。今回は「実践から見る地域の助け合い活動」をテーマに、福岡市社会福祉協議会地域福祉部長の馬男木幸子氏を講師としてお迎えし、ご講演いただきました。

「地域のつながりを広げるためには見守り活動と居場所活動が基盤となること」、「生活のちょっとした困りごとを解決する生活支援活動を行う上ではお互いさまの関係づくりが大切なこと」、「生活支援活動が男性の社会参加のきっかけになること」等、活動のヒントをたくさん頂きました。参加者からは、「生活支援活動を町内会でも立ち上げられたらと思う」「見守りネットワーク活動に取り込む形で検討したい」「地域で話し合いをしていきたい」など、今後の活動に対して前向きなご意見を多数頂きました。



その後、志免町役場福祉課高齢者サービス係の安恒係長より、「住民主体の生活支援」を行う団体への補助金についてご説明頂きました。この補助金は、住民主体のボランティアによる生活支援を行う団体に対し、活動の立ち上げや運営にかかる経費を補助するものです。補助金の上限額は、立ち上げ支援にかかるものとして、1団体につき1回のみ30,000円。運営支援にかかるものとして、10,000円に事業実施月数を乗じた額となっています。下記の図をご参照頂き、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

住民主体の生活支援（訪問型サービスB）

みんなで未来をつくるまち
～暮らしを支える力、つながりをつくる～

住民主体のボランティアによる生活支援を行う団体に対し、活動の立ち上げと運営に必要な経費を補助します

※生活支援・・・掃除、洗濯、日用品の買い物、調理、ゴミ出し、電球の交換などの家事援助をいいます
※排泄、食事、清拭・入浴、移動・移乗、起き上がりを補助する身体的な介護は実施しません

補助対象経費

- 活動の立ち上げ支援にかかる費用
- 活動場所の借上げにかかる費用
- 光熱水費
- 利用者の利用調整等を行う者に対する人件費
- 支援者のボランティア活動に対する奨励金(謝礼金)

団体要件	● 町内に所在し、生活支援に従事する者(ボランティア)を確保していること ● 町・地域包括支援センターと連絡調整を行う者を配置し、連携すること	
補助金の上限額	①立ち上げ支援にかかるもの ②運営の支援にかかるもの	30,000円 (1団体につき1回のみ) 10,000円 × 活動月数

視察研修

志免町議会 厚生建設常任委員会



7月14日(月)、厚生建設常任委員会の皆さんが視察に来られ、生活支援コーディネーターの活動や町内会で行われている支え合い活動等をご紹介しました。地域福祉活動にかかる費用や手当の有無、町内会未加入者への対応等、さまざまな質問が寄せられ、議員さん方の関心の高さが伺えました。

うきは市山春地区自治協議会健康福祉部会



9月10日(水)、うきは市山春地区自治協議会健康福祉部会さんが志免町へ視察に来られました。今回は「見守りネットワーク活動」と「居場所活動」について実践事例を知りたいとのことで、先進的な活動をされている石橋台町内会と別府三町内会へ依頼し活動実践を発表いただきました。

山春地区の方々からは、「見守りネットワーク活動を行う上での情報収集と管理」「活動者の人員確保」「予算の確保」「次世代へのバトンタッチ」「災害時の助け合いの仕組みづくり」等について質問が出され、活動への関心の高さが伺えました。

他地区からの刺激を受けることは今からの活動の参考になると共にモチベーションの向上にもつながります。自分の住むまちをよりよいまちにしていきたいという皆さんの願いがとても感じられた研修会となりました。

居場所活動の支援・情報提供

事業所が行う出前講座 情報一覧

令和6年度福祉推進委員会での意見を受け、民間企業や医療・介護事業所などが住民向けに行う出前講座やセミナーの情報をまとめました。

16事業所の情報を掲載しています。



社会参加・交流の場 一覧

会員募集中のサークルや習い事、文化協会やスポーツ協会等の情報を掲載しています。令和7年度より民間の運動施設の情報も掲載しています。



※いずれの一覧表も公募により掲載を希望された団体や事業所等の情報をまとめています。
※一覧表は社会福祉協議会の窓口にあります。

ふくしのまちづくりプロジェクト

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者、企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。地域での支え合い活動が軌道にのるまでの側面的支援も行っています。



桜丘一町内会



生活支援について話し合ってきましたが、担い手不足や中心となって活動して下さる方が見つからずプロジェクトを中断しました。

その後、町内会長に相談し、地域福祉の中核的メンバーに集まっていたいて再協議した結果、メンバー共通の活動であった見守り活動を強化することになりました。

プロジェクトでは、お互いの情報を持ち寄って見守り対象者の整理や支え合いマップづくりを行いました。また、今後も定期的に情報共有して見守り活動を進めていくことになり、プロジェクト終了後も月1回集まって見守り対象者の状況に変化がないか等を共有されています。

志免町社会福祉協議会では「地域のニーズ」と「地域の応援」をマッチングさせ安心して暮らせる支え合いの町づくりを目指します！



地域

志免町社会福祉協議会

個人・企業
商店・団体

「日常のちょっとした困りごとの
手助けをもらいたい」
「活動にあたり〇〇が足りない」
「地域活動も応援してもらいたい」
「専門家を派遣してもらいたい」 etc...



「専門知識を地域貢献に活かしたい」
「困っている人を助けたい」
「地域のために何かしたい」
「地域の取り組みを応援したい」 etc...

地域サポーター 募集中

地域サポーター
募集チラシはこちら ↓



(表)



(裏)

事業所用
登録フォームは
こちら ↓



生活支援コーディネーターのご紹介



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】 志免町社会福祉協議会 TEL：092-937-3011